

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321061	保育内容(表現A) Childcare Contents (Expression A)	伊藤久美子			2	必修	2前期

## 科目の概要

本科目では、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」のねらいと内容をふまえ、乳幼児の表現の理論、技術、援助方法を習得します。日々の生活のさまざまな場面で表現される子どもの一人ひとりの姿を受容して理解し、子どもの表現を通じた成長を支える専門性を身に付けます。また、様々な表現を体験しながら、保育者として必要な感性や表現力を磨きます。幼稚園教諭として6年間保育現場で勤務した経験を活かし、保育の具体的な表現遊びの場面の指導方法について、事例をもとに講義・演習を行います。DP②、③の実現を目指した意欲的な学修と自己課題の明確化により、豊かな表現力を身に付けた保育者を目指します。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 ② 保育者として必要な保育の表現活動の基礎知識と実践方法を様々な視点から理解する。 ③ 表現活動の実践を通して、子どもの表現を理解し、表現の楽しさを体験的に学ぶ。 ④ 子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を学ぶ。	① 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を理解することができる。 ② 保育の場面に即した表現活動をグループで考察し、発表できる。 ③ イメージしたものを表現する楽しさを体験し、子どもの表現指導の方法を実践できる。 ④ 子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を理解することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。

参考文献：保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書

【別府大学・別府大学短期大学部】

<https://www.beppu-u.ac.jp/oer/ocw/songs/57.html>

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：

保育内容「表現A」（330321061）は、学科専門科目の幼・保領域「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられ、保育内容総論、保育内容（音楽）、保育内容（表現・演劇）の基礎となる科目である。

また保育内容「表現A」は、幼稚園教諭免許・保育士資格に必要な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
日頃から様々な事象に触れ、想像力を働かせるように意識すること。 考えや思いを外に表し、他者とのコミュニケーションを深めていけるように心がけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。</li> <li>・無断欠席、遅刻をしないように心がけること。また、課題の提出期限を守ること。</li> <li>・グループのメンバーと協力しながら積極的に授業に取り組むこと。</li> <li>・携帯電話は必要などき以外は鞆の中にしまうこと。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
	レポート		20	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		70	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を十分に理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉でわかりやすく説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、自分の意見と他人の意見を融合させて討議を重ね、内容を精査して発表ができる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を自身も楽しみながら表現豊かに実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を十分に理解し、保育の場面や子どもの年齢に合ったねらいをもとに保育計画を工夫して立案することができる。</p> <p>(A)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を十分に理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉で説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、意見をもとに内容を精査して発表ができる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を自身も楽しみながら実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を理解し、子どもの年齢に合った保育計画を工夫して立案することができる。</p>	<p>(B)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉で説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、意見をまとめて発表できる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を理解し、保育計画を工夫して立案することができる。</p> <p>(C)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、発表できる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもの表現指導の方法を実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を理解して立案ができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の進め方 ・領域「表現」のねらいと内容について理解する。 ・子どもの興味・関心を知る保育者の表現について理解する。 ・言葉の表現の重要性について、遊びを通して体験する。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック	講義の内容、授業の進め方について理解できる。言葉で表現することの意義を理解する。	(予習) 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育保育要領の領域「表現」のねらいと内容を読み授業に臨む。 (復習) 得意な表現と苦手な表現について自身の表現の特性をまとめる。	135	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	子どもの舞台表現について ・パネルシアターの鑑賞を通して、表現する際の注意点を知る。 ・舞台表現指導の方法について学ぶ。 ・身体表現を応用した子どもの遊びを実践する。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの舞台表現の種類や指導方法、活動のねらいと保育者の援助について理解することができる。	(予習) 自分が幼少期の頃の舞台表現の経験を振り返り、内容を整理する。 (復習) 身体表現としての遊びの方法をまとめる。	135	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	作って遊ぶ①(教材研究と計画) ・子どもの衣装をデザインして構成を検討する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの表現を引き出す舞台衣装について理解することができる。	(予習) 子どもの舞台衣装について調べる。 (復習) グループワークの討議の内容をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	作って遊ぶ②(発表と評価) ・体の構造を理解して、新聞紙を使って衣装を製作する。 ・グループで製作した衣装を発表する。	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	舞台を想定した衣装を製作して、音楽に合わせて発表することができる。	(予習) 発表する際の演出についてBGMを検討して準備する。 (復習) 発表の振り返りと課題をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	自然を楽しむ表現活動 ・身近な自然物を使って製作する。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック	身近な自然物を利用して、その特性を活かして製作して表現することができる。	(予習) 季節の植物や、身近に存在する自然物を調べて準備する。 (復習) 自然物を実際の保育に取り入れる方法をまとめる。	135	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
6	体を使った表現遊び(リトミックやリズム遊び、集団遊び) ・子どもの発達過程に合った遊びの指導方を理解する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	音楽を通して体を動かすことの楽しさや、集団遊びの指導方法を理解する。	(予習) 子どもの集団遊びを年齢別で調べてまとめる。 (復習) 集団遊びを保育に取り入れる方法をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	児童文化と表現(わらべ歌と伝承あそび) ・わらべ歌と伝承遊びを通して表現の楽しさを知る。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	ごむとび、おてだまの遊びを実践して、伝承遊びの意義を理解する。	(予習) わらべ歌のあそびを調べて授業に臨む。 (復習) わらべ歌と伝承遊びの指導方法をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	絵本を使った表現遊びの方法(音を使った表現) ・表現のねらいをふまえた指導計画と保育内容を理解する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	表現のねらいを理解して、絵本を使った表現を実践できる。	(予習) 好きな絵本を選んで下読みし、読み聞かせの対象年齢と内容をまとめておく。 (復習) 絵本を利用した表現の振り返りと学びをまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	乳幼児の表現とコミュニケーション ・ふれあい遊びを実践する。 ・乳児対象の手作りおもちゃを製作する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	乳児の発達過程を理解し、対象年齢に相応しいおもちゃについて考察できる。	(予習) 0、1、2歳の子どもの、心と体の発達について調べてまとめる。 (復習) おもちゃの活用方法をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	舞台表現サンドアートの実践① ・サンドアートの題材を検討する。	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	砂を使った遊びの重要性を理解し、砂遊びの特性を活かした表現ができる。	(予習) サンドアートの実践動画を視聴して、描画の方法を調べておく。 (復習) グループワークで討議した内容をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	舞台表現サンドアートの実践② ・サンドアートのストーリー構成と描画、音楽を検討し、決定する。	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	決定した題材をもとに、グループで構成を考察することができる。	(予習) グループ討議でまとめた内容から、構成のアイデアを整理しておく。 (復習) 自分が担当するパートの練習をする。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	舞台表現サンドアートの実践③ ・サンドアートの発表準備と練習	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	音楽がもたらす演出効果を理解し、グループで協力しながら音楽に合わせて練習をすることができる。	(予習) 改善・修正点を検討し、自分の担当パートの練習をする。 (復習) 修正点を確認して、練習する。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	舞台表現サンドアートの実践④ ・サンドアートの発表と振り返り	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	グループで協力しながら練習した技術を十分に発揮し、表現を楽しみながらサンドアートの発表ができる。	(予習) 全体の流れを把握して、練習する。 (復習) サンドアートの取り組みの振り返りと学びについてまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	領域「表現」のねらいと指導計画の立案について ・指導計画に基づく表現指導の方法を、事例を挙げて実践する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの自由な表現を引き出す保育者の援助の方法と指導計画の立案を理解できる。	(予習) 保育現場で実際に指導したい保育の内容を検討する。 (復習) 指導計画作成のポイントをまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	表現活動における援助・指導方法の検討(まとめレポート)	オンデマンド Google classroomにて課題、フィードバック	保育者として必要な表現力とは何か考察し、今後に向けた自己課題を明確にできる。 表現活動を立案する際の保育のねらいを理解し、援助・指導の方法をまとめることができる。	予習) 授業の内容を振り返り、得意な表現と苦手な表現を改めて整理しておく。 (復習) 授業で体験した遊びの指導方法をまとめる。	135	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

## 2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322062	保育内容(表現B) Childcare Contents (Expression B)	松井素子		専門	2	必修	2後期

## 科目の概要

この授業では、幼稚園教諭・保育士としての知識技能を合わせ持ち、それらを主体的・創造的に活用することができるようにするために、発達段階に応じた表現活動を理解しながら体験修得していく(DP②)。幼児の図画表現は、段階的な発達を理解するとともに、幼稚園教諭および保育士として、教育(保育)現場で実践的に役に立ついくつかの造形を修得する。そして、幼児の造形に対して幅広い知識を身につけることで、小学校での学びとの関連性を考察していく。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領をふまえ、幼児の発達を理解する ② 表現の楽しさを体験し、感性を養うために必要な手法を体得する ③ 子どもの視点に立って制作の工夫をする	① 幼稚園教育要領をふまえた幼児の発達に関する知識を獲得し、理解することができる ② 感性を養うための表現とは何かを理解し、その活用として、造形遊びを考案することができる ③ 子どもの視点に立って課題を解決し、創意工夫をふまえた発展的な制作を実践することができる

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を実施するのに必要な知識について、資料を使って自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	推測で判断せずに、客観的に情報を整理して、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定観念に捉われることなく、多角的に物事を考察することができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を整理し、工夫した発表をすることができる。
	傾聴力	他者の意見を確認し、真摯な態度で耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	自分の価値観で判断せずに、集団のルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：「幼稚園教育要領」(平成29年3月公示 文部科学省)、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月公示 文部科学省)  
参考文献：適宜、資料を配布する。

## 他科目との関連、資格との関連

「保育内容(表現B)」は、学科専門科目群の幼・保領域領域の中の「保育の内容・方法に関連する科目」に配置されており、保育内容の5領域に関連する科目である。そのため過去に実施した「保育内容(表現A)」の展開的科目である。また、保育士の選択必修科目であり、幼稚園教諭1種の資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
この授業は、演習(課題制作)を基本としています。今まで美術が苦手だった人も、個性的でユニークなアイデアを作品に仕上げることができます。自分の個性に自信を持って、自己表現することを喜びとできるような積極性を持つようしてください。	授業開始後の入退室は原則禁止。 提出物は期限厳守。 課題未提出の場合は、単位修得対象としない。 制作のために資料(スマートフォンを含む)を参考にする場合は、必ず事前に許可を得ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解度の確認として成果発表を行う。発表内容20点、プレゼンテーションスキル10点</li> <li>制作に関しては、以下の配点とする。60点：作品の完成度が特に高く、子どもへの配慮や工夫がある。50点：作品の完成度は高く、子どもへの配慮や工夫がある。40点：作品の完成度は高いが、子どもへの配慮に欠ける。30点：作品の完成度が高いとは言えず、努力が必要である</li> </ul>		
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）講義の内容を積極的に吸収しようとする事ができる。 （実行力）課題解決に向けて積極的に臨むことができる。 （課題発見力）授業の中から自分なりの課題を見つけることができる。 （創造力）与えられた課題に対して自分なりの解決方法を模索できる。 （発信力）必要な時に、意見を述べたり、発表したりできる。 （傾聴力）他者の意見への同調や疑義を表明できる。 （規律性）遅刻、私語をせず、授業の進行に協力できる。 ※授業内の様々な活動を通して、上記の1～2つが認められれば3点、3～4つでは4～7点、5～6つなら8～10点とする。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題を理解し、多角的に研究している。</li> <li>造形で子どもに伝えたいことが十分に表現できている。</li> <li>子どもを楽しませるためのアイデアと工夫が豊かである。</li> <li>造形作品として、楽しく心豊かに鑑賞できる。</li> <li>グループワークではグループのテーマを表現するために自分の役割を理解し協働している。</li> </ul> ※上記基準を凌駕できる場合はA（優）評価とし、それをはるかに上回る場合はS（秀）評価とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題が理解できている。</li> <li>満足ができるまで制作を貫徹している。</li> <li>子どもに伝えたいことを造形で表現できている。</li> <li>造形活動で子どもに楽しんでもらおうとしている。</li> <li>造形作品として手を抜かずに仕上がっている。</li> <li>グループワークではグループのテーマを表現するために指示に従って努力している。</li> </ul> ※上記基準をこなすことのできる場合はB（良）評価とし、それをはるかに下回る場合はC（可）評価とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<幼児画の発達段階> 幼稚園指導要領の理解と、幼児の描画発達について知り、その特徴を理解する どのようなソースによって調べられたのかインターネットを使って理解する	講義 演習 小テスト	幼稚園指導要領を理解と、幼児描画発達について、大まかに理解できている。 (理解シートの提出)	(予習) 幼稚園指導要領を熟読する (復習) 幼稚園指導要領および、幼児の描画発達についてノートにまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性
2	<幼児画の体験> 展開描法を理解・描画し、こどもの世界を体験するとともに、評価について理解する どのようなソースによって調べられたのかインターネットを使って理解する	演習 作品制作	展開描法について、大まかに理解できている。 (アイデアメモとスケッチブックの提出)	(予習) 展開描法の理論をリサーチする (復習) 展開描法を再度やってみる	180	主体性 課題発見力 規律性
3	<幼児画の体験> レントゲン描法を理解・描画し、こどもの世界を体験するとともに、評価について理解する どのようなソースによって調べられたのかインターネットを使って理解する	演習 作品制作	レントゲン描法について、大まかに理解できている。 (アイデアメモとスケッチブックの提出)	(予習) レントゲン描法についてリサーチする (復習) レントゲン描法を再度やってみる	180	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	<造形練習1> 紙皿ゴマの制作を通して指導案を作成する。	講義 作品制作 グループワーク	回転したときにどのように見えるかを試しながらゴマゴマを作ることができる。 (アイデアメモと作品の提出)	(予習) 動いたときの画面の見え方を考え、効果的な画面について考える (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
5	<造形練習2> 紙皿ゴマの制作を通して、指導案を作成する。	作品制作 グループワーク 発表	指導案のテンプレートを使って、紙皿ゴマの指導案を作成できる。	(予習) 指導案例を用いて、指導案の書き方を学ぶ (復習) 紙皿ゴマの効果的な画面の工夫を再考する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
6	<保育指導1> 3種類の特殊な描画を体験し、保育指導としての指導案を作成する また、どのようなソースによって導き出したのかインターネットを使って理解する	演習 作品制作	手を使わない描画方法を理解して、作品制作ができる。 (アイデアメモと作品の提出)	(予習) 保育活動の指導案をリサーチする (復習) 指導案の作成をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
7	<保育指導2> 前回の授業で学んだ3種類の特殊な描画を主題にして、指導案をもとに模擬保育をおこなう	演習 模擬授業	指導案を作成し、模擬授業を遂行することができる (指導案の提出)	(予習) 指導案を作成する (復習) 模擬授業の振り返りをする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8	<壁面練習1> 幼稚園・保育園の教室を想定した季節飾り(壁面)の制作を通して、素材を活かした表現を習得する グループで構想を練り、分担を決めて制作準備をする どのようなソースによって制作したのかインターネットを使って理解する	演習 作品制作 グループワーク	グループ内での自分の役割を理解し制作することができる。 (制作メモの提出)	(予習) 雑誌やネットなどを用いて、保育園・幼稚園の壁面を調べておく (復習) 壁面装飾のための素材を用意する	180	主体性 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	<壁面練習2> 幼稚園・保育園の教室を想定した季節飾り(壁面)の制作を通して、素材を活かした表現を習得する 構想をもとに、分担箇所の制作を行う どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作 グループワーク	グループ内での自分の役割を理解し制作することができる。 (制作メモの提出)	(予習) 壁面装飾に必要な素材を用意する (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
10	<コマ取りアニメ> 幼稚園・保育園におけるICTを活用した造形活動について制作を通して考える。分担箇所の制作を行うとともに、全体的なバランスを考えた修正を加える。どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作 グループワーク	グループ内での自分の役割を理解し制作することができる。 (制作メモの提出)	(予習) コマ取りアニメについて学ぶ (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
11	<壁面練習4> 幼稚園・保育園の教室を想定した季節飾り(壁面)の制作を通して、素材を活かした表現を習得する 全体のバランスを考慮した総合的な制作を行う どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作 グループワーク	グループ内での自分の役割を理解し制作することができる。 (制作メモの提出)	(予習) 壁面装飾に必要な素材を用意する (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	<壁面練習5> 幼稚園・保育園の教室を想定した季節飾り(壁面)の制作を通して、素材を活かした表現を習得する 全体的な構成確認を行い、修正を加えることで作品を完成させる どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作 グループワーク	グループ内での自分の役割を理解し制作することができる。 (制作メモの提出)	(予習) 壁面装飾に必要な素材を用意する (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
13	<名札づくり> 実習で使える「名札」を制作し、見やすく楽しい構造を理解する どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作	子どもが可愛いと思える名札を作ることができる。 (アイデアメモと作品の提出)	(予習) 手作り名札の例作品を選出して印刷して持参する (復習) 授業内でできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	<ぬりえ制作> ぬりえについて、子どもの資質・能力への関わり方について考え、オリジナルのぬりえを考案する。	演習 作品制作	ぬりえの学習効果を踏まえ、独創的なぬりえを制作できる。 (アイデアメモと作品の提出)	(予習) 自分が過去に楽しんだぬりえや現代のぬりえについてリサーチしておく (復習) 授業内だけではできなかった制作をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
15	<オリジナルポケット絵本制作> 保育の現場で自分のポケットに入れて活用できる絵本を制作する。 どのようなソースによって制作したのかインターネットを使ってを理解する	演習 作品制作	絵本の構造を理解して、オリジナルの作品を制作できる。 (アイデアメモと作品の提出)	(予習) 絵本の種類や構造について調べる。 (復習) 授業内だけではできなかった制作をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力